

3 天然林に移行させる

(1) 天然林への方向性

整理するのは早成樹から行い、とくに常緑樹の成長を促進させるように常緑樹に接した樹木を整理してゆきます。

(2) 枯れ木の整理

基本的には放置しておいても構いません。枯れ木を整理すると、多少の照度が改善され他の樹木が成長しやすくなるようになります。林床植生が十分あって、その減少が深刻でない場合は林内に放置することも可能です。斜面地の土壌流失を考えると柵を作る「しがら」もよい方法です。

(3) 下草の整理

常緑樹が多くなるとこれまでの陽性の草種が極端に減少します。土壌の流出も考えられますので耐陰性の強いヤブラン、ジャノヒゲ、ヤブコウジなどを保存します。

(4) 整理伐をおこなう

いったん森林が閉鎖しますと、急速に森林が上に伸びて下枝が枯れてゆきます。将来重要な樹木が侵入し始めているならば、周辺の木を伐って目的とする木を大きくさせることに注意してください。



常緑樹林に生えるマンリョウ



常緑樹林に生えるオモト

(5) 環境改善の証拠

常緑樹林下に生えるヤブコウジ、ミヤマシキミ、カラタチバナ、イズセンリョウなどがみられると林床植物も常緑樹林化したことになります。



自然林に生えるミヤマシキミ



常緑樹林に生えるカラタチバナ